

# 社会資本総合整備計画書

ぐんちゅうちく  
郡中地区まちづくり計画

平成30年9月

愛媛県伊予市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年9月20日

計画の名称	郡中地区まちづくり計画										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)					交付対象	愛媛県、伊予市											
計画の目標	<p>・旧伊予市の中心部である灘町が商店街として栄えてきたが、国道56号の整備や消費者ニーズの変化とともに、国道沿線に新しい店舗や事業所が増え、松山自動車道伊予インターチェンジの開設等により、郊外型大型店舗の出店や増床が行われるようになり、中心市街地の衰退がみられるようになった。</p> <p>一方で、中心市街地には昔の町家が多く残り、江戸時代の区制や骨格が残っていると、公共交通結節機能、経済機能、公共公益機能等の主な都市機能が既に集約されている。</p> <p>こうしたことから、JR伊予市駅や伊予鉄郡中港駅等を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置付け、老朽化した公共施設の集約更新を行い、都市機能のコンパクト化と拡散防止、中心市街地における公共・公益サービス機能の維持を図る。また、郡中の古いまちなみを中心とする観光資源を活用し、地域内外の交流の拡大を図る。</p>																	
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の歩行者数を245人(H26)から275人(H32)に増加させる</li> <li>図書館・地域交流センターの利用者数を62,706人(H26)から66,000人(H32)に増加させる</li> <li>「町家」の入込客数を285,197人(H26)から301,000人(H32)に増加させる</li> <li>計画区域内居住人口を5,806人(H26)から5,835人(H32)に増加させる。</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)					
図書館・地域交流センター利用者数 図書館及び地域交流センターの複合施設の年間利用者数の合計											62,706 人/年	—	66,000 人/年					
「町家」入込客数 観光拠点やイベント会場である「町家」の年間入込客数											285,197 人/年	—	301,000 人/年					
商店街歩行者数 商店街の中心部にあたる「宮内邸」前における、10月の平日・土曜日の2日間、9:00～19:00の歩行者数合計											245 人	—	275 人					
計画区域内居住人口 都市再生整備計画の対象区域内における居住人口											5,806 人	—	5,835 人					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,482百万円	A	4,464百万円	B	0百万円	C	18百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.4%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
A-1	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	郡中中心拠点地区都市再生整備計画事業	A=126.2ha	伊予市	H28	H29	H30	H31	H32	4,464				
													合計	4,464				
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
													合計	0				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
C-1	計画・調査	一般	伊予市	直接	伊予市	事業効果評価分析	事業効果の評価分析	伊予市	H28	H29	H30	H31	H32	5				
C-2	計画・調査	一般	伊予市	直接	伊予市	街歩きマップ作成	景観資源を巡るマップの作成	伊予市						3				
C-3	計画・調査	一般	伊予市	直接	伊予市	道路交通社会実験	道路交通に係る社会実験の実施	伊予市						10				
													合計	18				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
C-1	今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。																	
C-2	A-1とセットで実施することで地域の魅力を発信し、街中への人の流れを創出する。																	
C-3	道路整備による歩行者スペースの確保と併せて、商店街への滞留空間づくりを検討する。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
													合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	409	693			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	409	693			
前年度からの繰越額 (d)	0	314			
支払済額 (e)	95	359			
翌年度繰越額 (f)	314	647			
うち未契約繰越額 (g)	0	38			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h) / (c+d))	0.0%	3.8%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

